

見学可

旧林家住宅

国指定重要文化財

～大製糸家の居宅、幻の金唐革紙を今に残す～

◆ 時代を見据えた國藏ヒストリー

林國藏はヨーロッパなどへ生糸を輸出するため、製糸技術の改良を進め製糸業を大きく発展させた。その一方、生糸の取引に必要な通信事業や、中央東線の開通運動などに尽力し地域の発展に貢献した。

◆ 匠の技

この住宅は、大隈流棟梁伊藤佐久二により明治30年代から40年にかけて建てられた。建物は本棟造りの主屋(和室と洋室)と土蔵造りの離れに分かれるが、彫刻師清水好古齋による主屋の欄間彫刻はすばらしい。

◆ 幻の金唐革紙

2階には西洋建築の壁紙「金唐革紙」を貼り巡らせた和室が残されている。明治の芸術産業とよばれた金唐革紙は必見である。

●開館時間 9:00～16:30 (11月4日から3月31日までは土日祝日のみ開館)

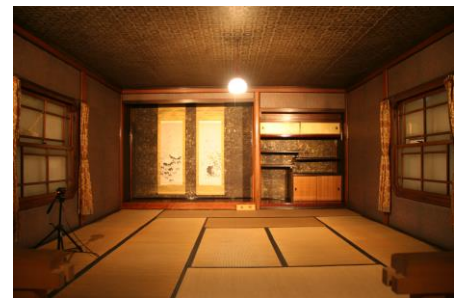
●休館日 毎週水曜日・祝日の翌日・年末年始

●入館料 一般 おとな(高校生以上) 580円、こども 270円
団体(10名以上) おとな(高校生以上) 370円、こども 110円

●TEL 0266-22-2330



旧林家住宅



金唐革紙の和室